

酪農宮崎

令和8年 4月30日 印刷
令和8年 5月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.654
2026年5月

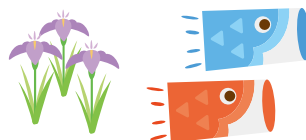


4月より新体制になった酪農飼料部長以下職員一同

5月号目次

情勢報告	1
職員配置図	2(上)
山崎牧場ワークショップ	2(下)
第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウ	3
高原町総合畜産共進会	4(上)
小林市総合畜産共進会	4(下)
アンケート結果から見る暑熱対策	5~6
農大通信Vol.18	7

ナンノ教授のヒトリゴト	8
株式会社エヌエスピー広告	9
全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年4月15日現在

指定団体	3月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	347,312	99.9	3,997,840	101.1
東北	38,811	95.9	446,291	98.8
関東	90,987	98.7	1,013,886	99.9
北陸	5,334	94.2	61,856	96.8
東海	25,856	99.6	283,871	99.5
近畿	11,789	94.7	133,359	97.8
中国	25,679	99.5	283,907	99.5
四国	8,967	100.7	99,936	100.6
九州	49,274	100.1	531,921	99.4
(内、宮崎)	5,911	95.7	65,445	98.1
都府県	256,696	98.5	2,855,028	99.4
合計	604,008	99.3	6,852,868	100.4

2. 販売状況

令和8年4月15日現在

用途	区分	3月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	224,051	97.5	2,868,695	98.5
	九州	29,923	98.0	365,032	98.8
はっ酵乳等	全国	34,856	97.8	414,471	98.4
	九州	6,843	99.5	84,188	98.8
特定乳製品	全国	194,170	99.8	1,851,492	103.9
	九州	10,039	107.7	55,757	104.2
生クリーム	全国	109,610	99.4	1,283,304	99.6
	九州	2,348	97.4	25,923	99.9
チーズ	全国	41,320	108.8	434,906	102.8
	九州	121	127.9	1,021	90.9
合計	全国	604,007	99.3	6,852,868	100.4
	九州	49,274	100.1	531,921	99.4

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 3月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6戸
80 t 以上 ~ 100 t 未満	1戸
60 t 以上 ~ 80 t 未満	15戸
40 t 以上 ~ 60 t 未満	24戸
20 t 以上 ~ 40 t 未満	62戸
10 t 以上 ~ 20 t 未満	32戸
10 t 未満	16戸
合計	156戸
最高出荷量	495t/月
平均出荷量	38t/月

4. トピックス

JAみやざき 酪農飼料部酪農課 新体制よろしくお願ひします!

JAみやざきの定期異動により4月から酪農課の管理職(課長及び課長補佐)が変更となりました。僣越ながら紙面をお借りし、自己紹介及び着任のご挨拶をさせていただきます。

この度、酪農課課長を拝命致しました木下崇司(きしたたかし:47歳)と申します。2004年4月1日に旧JA宮崎経済連に入会し、酪農課にて7年間勤務した後、管理部関連事業課にて4年間、その後、養豚部養豚課にて11年間勤務しました。今回の異動による酪農課勤務は、実に16年ぶりになります。入会当時の初々しい姿はもはや見る影もありませんが、当時の気持ちだけは思い出そうと、2004年(入会時)の本県の酪農生産者戸数及び生乳生産量を振り返ってみました。

=2004年2月1日=(JA宮崎経済連 入会時)
 県内酪農家戸数は487戸、搾乳牛頭数12,468頭(乳牛総頭数20,331頭)、1戸あたりの総頭数は41.7頭、生乳生産量は108,864トン。

=2026年2月1日(あれから22年後の現在…)=
 県内酪農家戸数は157戸、搾乳牛頭数6,869頭(乳牛総頭数10,992頭)、1戸あたりの総頭数は70.0頭、生乳生産量は66,657トン。

22年の歳月を経て、酪農家戸数は当時の32.2%、搾乳牛頭数は55.0%、1戸当たりの総頭数は167.9%、生乳生産量は61.2%となっています。

戸数は大幅に減少しているものの、1戸当たりの総頭数が増加していることから、飼養規模の比較的小さな生産者が減少し、飼養規模の大きな生産者が残っている(もしくは規模拡大があった?)ことがわかります。また、搾乳牛頭数の減少率に対し、生乳生産量の減少率が低い(牛そのものの能力が上がっている)ことも推測されます。

このことを踏まえ、この先の20年を想像すると、おそらく致し方ない高齢化に伴う戸数の減少は続くと思われる。が、残る生産者が牛の能力向上や頭数の維持拡大を行い、戸数減少分の酪農生産基盤(生乳生産量)を守っていく。ということになるでしょう。

その中で、過去20年と同様に生産基盤を減少させない為に、また、消費者へ安定的に牛乳を届けていく為に、「JAみやざき酪農課は何ができるのか?何をやるべきなのか?」を、職員一丸となって考え取り組んでいきたいと思ひます。生産者の方々と共に基盤づくりに取り組んでいきたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ致します!

=追伸=
 毎月ここに記載する文面は酪農情勢のトピックスですが、自己紹介(?)が長くなりすぎたため、4月の酪農情勢トピックスは次回に掲載させていただきます。あしからずご了承ください。

酪農課 木下 崇司

令和8年4月1日付JAみやざき本店役職員配置図(酪農関係)

令和8年4月1日現在

4月1日からJAみやざき本店酪農課が新体制となり、業務分担が変更となりました。

今後も新体制での酪農事業推進にご協力よろしくお願いたします。

異動対象者

飼料養鶏課	
課長	中武 真吾
課長補佐	清 正樹

肉用牛部	
部長	齋藤 周平

肥育牛課	
課長	加藤 喜博
課長補佐	永友 由朗

和牛振興課	
課長	今井 裕二
課長補佐	伊藤 雅章

代表理事組合長	栗原 俊朗
代表理事副組合長	坂下 栄二
代表理事副組合長	平島 善範

畜産担当参事	有馬 慎吾
--------	-------

酪農飼料部	
部長	黒木 博

酪農課	担当業務
課長 木下 崇司	課内全般
課長補佐 平郡 智和	課内全般補佐
主幹 川添 翔哉	都城地区・酪農協議会
主幹 伊豆元真由子	生乳生産計画・青年女性協議会
主幹 黒木久美子	牛群検定事業・教育ファーム
主査 益田 浩大	西諸地区・酪農クラスター
主査 関谷 峻平	中北地区・改良同志会
職員 木崎 亮	西諸地区・凍結精液業務
職員 川越 夏海	乳代精算業務・生乳関連補助事業
職員 日高 里保	都城地区・酪農ヘルパー事業
職員 陣内 優也	イベント助成・乳質データ管理
準職員 吉村 理英	課内業務全般・凍結精液推進管理業務
準職員 森 さくら	課内庶務全般・各種協議会事務
派遣職員 井上 恵理	牛群検定事業事務・預託事業事務
駐在 川邊 一仁	中北地区・基盤拡充・カウコン
駐在 堀 重信	診療・防疫/衛生対策

酪農課 TEL:0985-31-2128
FAX:0985-31-5765

霧島集乳事業所 TEL:0984-25-6700
FAX:0984-25-6701

高鍋事業所 TEL:0983-23-5005
FAX:0983-23-1840

霧島集乳事業所	
所長	豊広 一幸
審査役	今井 弘高
主幹	岩切 光洋
職員	市原 好英
職員	和田 達也
準職員	永住 侑也
出向職員	今吉 広和
派遣職員	松山 智子
パート	永田るみ子
パート	原田 豊秋
パート	谷山 茂昭

高鍋事業所	
ヘルパー・検定組合	黒木 貴子

酪農ワークショップ開催!

令和8年3月10日(火)に栗須コミュニティセンターにて栗須っ子クラブの児童、職員の先生方を対象とした酪農ワークショップを開催いたしました。(山崎牧場主催)

ワークショップではフレッシュバターづくりや牛乳の試飲を行いました。

フレッシュバターづくり体験では、容器を一生懸命に振り続けると液体から固体に代わっていく様子をみんなで見守り、完成したときには喜びの声が上がっていました。

また、牛乳の試飲では、ノンホモ牛乳と通常の牛乳の試飲を行い、みんな感想を言い合いながらそれぞれの違いを楽しみました!

ワークショップの様子をお届けします!



酪農家のお仕事紹介



フレッシュバターづくり

第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウ

宮崎県乳用牛改良同志会 事務局 関谷峻平



前原直希氏（えびの市）出品牛 グランドチャンピオン獲得

令和8年3月22日（日）熊本県家畜市場（大津町）にて第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウが開催された。

全13部門（未經産6部門、経産7部門）において、九州各県からの出品頭数は153頭となった。宮崎県内においては44頭の出品となり、内訳としては都城地区で27頭、西諸地区で12頭、中北地区で4頭の出品であった。

審査員には、アルタジャパン株式会社代表取締役 細野 淳氏を迎え、厳正なる審査が行われた。

本大会において最も優れた牛に与えられるグランドチャンピオンには、前原直希氏（えびの市）出品牛の「サランド ハズ イット ロウ エ ET」が選ばれた。

グランド チャンピオン・リザーブ チャンピオン各賞



部	褒章	名号	登録番号	地域	出品者
8	グランドチャンピオン	サランド ハズ イット ロウ エ ET	1686639447	宮崎	前原 直希
12	リザーブチャンピオン	ヒルアイランド ウィンメット ラムダ レインボ	1659462577	大分	岡嶋 建一郎
5	ジュニアチャンピオン	キ-Sst-マン エントリー-ET	1632304863	熊本	松島 太一
5	リザーブチャンピオンジュニアチャンピオン	フォキ-ハイランド ハリアント ハイオクターン	1511418940	鹿児島	(有)池田農場

宮崎県内における名誉賞入賞牛は下表の通り、14頭という結果となった。

宮崎県受賞者

宮崎県乳用牛改良同志会

部	褒章	名号	登録番号	地域	出品者
1	名誉賞 首席	TONO サイト キックリア ロゼ ユタ	1686047723	都城市	宮崎県立都城農業高等学校
1	名誉賞 2席	SWF スリ-エム ミルン エレメン サイト K	1353701613	高原町	清水 豊
2	名誉賞 3席	TAHS テド スマイル エム LE カネ	1686858244	高鍋町	宮崎県立高鍋農業高等学校
3	名誉賞 首席	TAHS ウイルコックス ユニクス	1686858213	高鍋町	宮崎県立高鍋農業高等学校
3	名誉賞 2席	TAHS テド ハブ アドリム	1686858237	高鍋町	宮崎県立高鍋農業高等学校
4	名誉賞 首席	SFT MRC アクシオンマン フェニクス	1688821123	都城市	田中 賢志郎
4	名誉賞 2席	SFT DR アクシオンマン コプシー	1688821017	都城市	田中 賢志郎
6	名誉賞 首席	TONO ウィットニブル	1679647572	都城市	宮崎県立都城農業高等学校
8	名誉賞 首席	サランド ハズ イット ロウ エ ET	1686639447	えびの市	前原 直希
10	名誉賞 3席	SWF エボ マーレ ビー-クジ ヤガ	1646800054	高原町	清水 豊
11	名誉賞 3席	SFT HF ラムダ セレブ ET	1453220168	都城市	田中 賢志郎
12	名誉賞 3席	ブラチチ TKO サランド サイト エンゲ-ジ ET	1417853081	都城市	浜崎 太一
13	名誉賞 2席	ネトルリ-アルマ-ニホルトン	1492707934	都城市	榎木 敦史

第49回高原町総合畜産共進会(乳用種牛の部)

第49回高原町総合畜産共進会が令和8年4月3日に高原畜産振興センターにて開催されました。町内の酪農家が手塩に育てた18頭が集結し、その美しさと資質を競い合いました。厳正なる審査の結果、最高賞のグランドチャンピオンには清水豊氏出品の「SWF パー ジェットエア-ピュセント」が選ばれました。また、全体的にもレベルが高く、次世代を担う乳牛たちの質の高さも光る大会となりました。



グランドチャンピオン(清水 豊氏)



【審査結果】

部類	優等首席	名号	出品者
第1類	1-3	SWF スリ-ム ミルン エレメン サイド K	清水 豊
第2類	2-2	SH775 ハゲ-ソイド ロイヤルニ-ET	合同会社 石山牧場
第3類~第4類	3-2	SWF パー ジェットエア-ピュセント	清水 豊
第5類	5-3	SH 692 レジ マウイ ホットジョブ	ハイランド シンジゲート

※第3類と第4類は当日合同審査

区分	No.	名号	出品者
グランドチャンピオン	3-2	SWF パー ジェットエア-ピュセント	清水 豊

第21回小林市総合畜産共進会

第21回小林市総合畜産共進会が令和8年4月4日に小林地域家畜市場にて開催されました。小林市の畜産共進会は昭和から数十年続く歴史ある共進会で、現総合畜産共進会は、旧須木村との合併による新市誕生を記念して開催され、今年で21回目を迎えます。かつては馬、豚(生体)の部門もありましたが、現在生体審査は和牛と乳牛の部のみとなっています。今回乳牛の部には、市内10件の酪農家から、育成3部門・経産2部門の合計23頭が出品され、その美しさと資質を競い合いました。厳正なる審査の結果、最高賞であるグランドチャンピオンには温水聖氏出品の「トップ グリーン ハツビ-ライヴ チーフ」号がその栄誉に輝きました。またジュニアチャンピオンには永田一喜氏出品の「ロング デル チーフ パ-バラ」号が選ばれました。今回の共進会では、改良された優秀な乳用牛が集まったばかりでなく、後継者を中心に例年にない多数の出品があり、次世代を担う若手酪農家の活躍が光る大会でもありました。



集合写真



グランドチャンピオン決定審査

【審査結果】

部類	優等首席	名号	出品者
第1部	104	トップ グリーン グイナステイリ-	温水 聖
第2部	203	ロング デル チーフ パ-バラ	永田 一喜
第3部	301	クロスア-ム HL ベ-ジ クラッシュ-チエロ	高佐 政昭
第4部	401	SKリパ- アップ ウィ イレツジ サマ-フェスト	温水 聖
第5部	503	トップ グリーン ハツビ-ライヴ チーフ	温水 聖

区分	No.	名号	出品者	
グランドチャンピオン	503	トップ グリーン ハツビ-ライヴ チーフ	温水 聖	
ジュニアチャンピオン	203	ロング デル チーフ パ-バラ	永田 一喜	
乳器賞	第4部	402	ロング デル ジュヤステイン マツリ	永田 一喜
	第5部	503	トップ グリーン ハツビ-ライヴ チーフ	温水 聖

アンケート結果から見る暑熱対策

畜産試験場 酪農飼料部

酪農飼料部では、県内の酪農家の皆様を対象に暑熱対策に関するアンケートを実施しました。御協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

今回は、アンケート結果より見えてきた「暑熱対策の極意」をまとめました。夏の厳しい暑さを乗り切るヒントとしてご活用ください。

①健康・生産性への影響

暑熱は牛体へ多大なストレスを与えます。アンケートで多く挙げられた「悪影響」は以下の通りです。

- ①採食量の減少 17件
- ②体調不良の増加 16件
- ③AI・ET受胎率の低下 16件
- ④乳成分の悪化 14件

これらは「採食量の低下」を起点に連鎖的に起こります。まずは、「いかに採食量を維持するか」という視点で管理の見直し、全ての対策の第一歩となります。

②対策の現状

多くの農場で導入されている設備トップ5です。

- ①換気扇 約76%
- ②ミストファン 約41%
- ③インバーターファン 約37%
- ④屋根への散水 約31%
- ⑤ヒートストレスメータ 約27%

「特に効果を感じる」対策もトップ3はこの3つでした！

換気扇を中心とした送風設備が主流で、さらに「送風+散水」を組み合わせる冷却効果を高めている農場が多い傾向がありました。

③対策事例紹介

設備投資だけでなく、日々の管理を見直すだけでも大きな効果が期待できます。現場で実践されている「小さな工夫」をご紹介します。

- ・ **給水環境を改善**：配水管を太くして流量を確保。
- ・ **清潔な環境の維持**：給水器や飼槽の清掃頻度をアップ。
- ・ **給与管理の工夫**：餌寄せや給与回数を増やし、夕方は日が沈んで涼しくなってから給与。
- ・ **飼料の選定**：繊維の柔らかい粗飼料を選び、消化をスムーズに

今からできる暑熱対策！



まずは牛の快適環境を「日々の管理」で作みましょう。

①「最大の冷却源」である水を清潔に

給水器の汚れは飲水量を低下させ、暑熱ストレスを加速させます。毎日の清掃を徹底しましょう。水温上昇を防ぐため、水槽や配管への遮光対策も併せて行うのがベストです。

②良質な粗飼料で消化熱を抑える

消化率の良い粗飼料は、消化に伴う無駄な熱の発生を抑えられます。夏場こそ質の良い粗飼料を選びましょう。

③小分け給与で「一回あたりの熱」を減らす

一度に大量の飼料を食べると、第一胃での発酵熱により体温が急上昇します。給与回数を増やすことで、体温上昇を穏やかに抑えながらも、採食量を確保することができます。



④涼しい時間帯を活かす

日中の高温時は食欲が落ちます。早朝や夕方の涼しい時間帯にしっかりと食べてもらうよう、給与時間を調整しましょう。

⑤設備の「稼働前点検」を忘れずに

埃や汚れは故障や能力低下の原因です。夏本番を迎える前に、換気扇や散水装置の清掃・点検を済ませ、万全の状態に臨みましょう。

[お問合せ]
畜産試験場 酪農飼料部
電話：0984-42-4837

農大通信 vol.18 ~春という季節~

今年度から宮崎県立農業大学校畜産学科酪農専攻の担任を務めております風見と申します。20数年ぶりの牛農場作業、初めての学校勤務ということで、気持ち新たに全力で努めてまいります。

桜が咲き、暖かな風が舞い、季節は春になりました。皆さんにとって春はどんな季節でしょうか。農業大学校では、挑戦あり、別れあり、出会いあり、様々な出来事がありました。

まずは「挑戦」です。3月にオール九州ブラックアンドホワイトショー第5部に出品しました。結果は14頭中11位でしたが、九州管内の酪農家、酪農関係者が集まる場に参加できたことはとても良い経験になりました。農業大学校からの出品は本校のみでしたが、ある意味では存在感を示すことができたと考えています。



ブラックアンドホワイトショーでの勇姿

次は「別れ」です。畜産学科から30名の学生が卒業し巣立っていきました。酪農専攻の8名は、農場で働いたり、研修農場に向かったり、農業団体に就職したりしております。進路は様々ですが、農業大学校で学んだ知識・技能、心の支えとなる仲間、

そして最後までやり遂げた自信を持って、新たなステージで活躍されることを期待しています。



令和7年度卒業生

最後に「出会い」です。今年度、畜産学科には19名の学生が入学しました。新入生は6月までの3か月間、肉用牛、酪農、養豚、フードビジネスの4つの専攻の実習を体験し、今後の学生生活で専門的に学ぶ分野を決めていきます。出荷するまで管理に気を抜かない集中力が求められる肉用牛か、日々の作業をどんな状況でもこなす継続力が求められる酪農か、多頭数の分娩・出荷を管理する判断力が求められる養豚か、商品企画力や製造技術が求められるフードビジネスか、新入生がどんな選択をするのか今から楽しみです。



令和8年度入学生

現在、牛の管理を新2年生が行っておりますが、専攻が決まると、バトンは新1年生に引き継がれます。そして、牛とともに学生が様々なことを学んでいきます。こんな様子を見られることは、教員の醍醐味だと感じています。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

学術論文とは？

南野 快

研究者は分野を問わず、自分の仕事を何らかの方法で公表することを生業とする。研究発表を通して社会に認知され、公表した内容と数(質と量)によって、所属先の大学や自分の属する学会、学界、そして社会に評価される。

公表手段は論文が基本である。論文は研究業績として蓄積される。今はネット上で公表されるので、査読(同業研究者による審査)の結果、掲載が一度許可されると出来の良し悪しに関係なく末永く残る。それは光栄なことであると同時に、後世において恥晒し(?)にならないように、細心の注意を払って投稿し、公表する覚悟が研究者には求められる。

自然科学分野の原著論文は英語である。言葉のハンディがある日本人の研究者は、決して安くはない英文校閲料を払いながら論文を完成させてきた。ところが、自動翻訳ソフトの登場によってこれまで苦勞してきた英文作成が大幅にスピードアップした。これは、論文を読むこと(英語を日本語に瞬時に翻訳)においても同様である。そして、それはより激しい競争を生むことになった。と同時に多くの新しい学術雑誌を扱う出版社が登場した。出版社は論文掲載料を著者に請求する。論文査読には多数の関係者の時間と労力を要しているため、ある程度のコストがかかるのは仕方ない。研究者にとってはいち早く、より多くの研究を公表して自分たちの成果としたいので、査読プロセスが早い雑誌が好まれる。この研究者心理に乗じて論文査読を迅速化しつつ採択率を高くして、同時に多額の論文掲載料を徴収する(ビジネス優先の)雑誌を「ハゲタカジャーナル(英語ではPredatory Journal “獲物を捕食する雑誌”）」と呼ぶ。その結果、数多くの粗雑な論文が世に出る

ことになった。

生成系 AIが全盛の今、論文作成においてもその利用の是非が問われている。生成系 AIに「引用できる文献をリストアップして」と質問して出てきた回答の論文リストがデタラメ(実在しない論文だらけ)だったことがある。本当にその論文が実在するのか、自分自身で確かめることが必要である。また、続けて同じような質問をすると、「先ほどの回答は誤りでした。申し訳ありません。」と謝ってきたこともある。これはこれで人間らしくてたいしたものだが、パッと出てきた回答を鵜呑みにしてはいけないことだけは確かだ。ニセの回答、すなわち AIが持つハルシオン(幻覚) のリスクに留意しなければいけない。

ただ、次の事実には安心する。リアルな世界、実際のフィールドにおいて文字通り体を動かして必要な時間をかけて生のデータを得ることでは、科学の真実を知ることはできない、ということだ。



写真 キャンパス内で見つけたヒメヒオウギ(姫檜扇)。フリージアの一種だが英名はFalse Freesia(ニセフリージア)。人間に“ニセ”と勝手に名付けられて、この花には迷惑な話かもしれない。但し、「歓喜」、「青春の喜び」、「楽しい思い出」と、春を迎えた学生が過ごす場所で咲くのに相応しい花言葉を与えられている。

MEASURE
SOMATIC CELL
WITHOUT
POWER

迅速・簡易体細胞スクリーニング MZ ソマファスト テストキット SOMAFAST 機材のいない乳中体細胞簡易測定



- 特長**
- 電源不要
 - 目視判定
 - 判定時間20秒
 - pH指示薬判定

ソマファスト テストキットはゲル化法により生乳1mlあたりの体細胞総数を乳中体細胞数 (SCC) として簡易測定します。ソマファストでは判定時間後の専用チューブ中の液量を色分けされた目盛りを用いて目視で読み取ることで簡単に判定できます。米国では、低温殺菌牛乳条例 (PMO) に基づき、乳中の体細胞数の規制値は75万個/mLです。SomaFast テスト キットは、生乳の SCC レベルを簡易測定し、潜在性乳房炎の牛の特定と慢性乳房炎の確認に役立ちます・pH 値 (酸度) と業界の品質基準への準拠の観点から生乳の品質を評価できます。



生乳2mLとリアクションバッファー 2mLをチューブに入れます



攪拌した後キャップを閉めて20秒間倒置して廃液します



SCC レベルの読み取り : 20秒倒置した後にチューブに残った液量で判定します



目盛りの色分け		判定
グリーンゾーン	< 200,000	乳腺炎の可能性は非常に低い
イエローゾーン	200,000 ~ 400,000	潜在性乳房炎の可能性がある ケアレベル
レッドゾーン	> 400,000	乳房炎が発生する可能性が非常に高い

NSP Perten
a PerkinElmer company

NSP 株式会社エヌエスピー

〒261-0026 千葉県千葉市美浜区幕張西1-2-21 1F TEL: 043-301-3114
TEL: 03-5638-5522 FAX: 048-413-0480 Mail: contact@nsp-jpn.com
ホームページ: <https://nsp-jpn.com>



NSP Perten



全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよなあ..」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよなあ..」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
 全酪連 福岡支所 畜産課 まで
 092-431-3447
 お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。
 ※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。
 (肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)
 ※哺育期間は、全酪連‘強化’哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後雌牛のための「強化哺育®・育成体系」を発表、強化哺育®用代用乳「カー トップ EX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月ではほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果と和牛子牛やF1子牛に応用するために「カー トップ EX ブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用系牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用系牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カー トップ EX ブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら
 代用乳・配合飼料・添加物・酪産・畜産機械類 掲載

地域によって、取扱いがない製品もございます。
 詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所 TEL 092-431-8113 FAX 092-431-8355
 南九州事務所 TEL 0986-62-0006 FAX 0986-62-0193

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実、ビートパルプを多く配合したミックスタイプ



➤ デイリーアップ74

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- ベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ 乳デイリー74M

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- リジン・メチオニン添加
- ビートパルプ配合



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- シンプルな内容で低コストを実現

